

**単元名 5 自らの考えを ―[議論]話し合いを効果的に進める**
**配当時間 1時間**

**単元の目標** (1) 全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えることができる  
 (2) 話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えることができる。  
 (3) 積極的に進行の仕方を工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとする。

**標準的な展開例**

12210210\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 効果的に話し合いを進めるためのポイントを知る。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★話し合いを効果的に進めるためのポイントを知ろう。  ○ 「卒業文集のテーマ設定」に向けた学級の話し合いにおける、5名の発言内容を理解する。  ○ 空欄を埋める発言を各自で考え、その意図も併せて発表し合う。  ○ 学習を振り返る。 ・ 話し合いを効果的に進めるためには、どんなことに注意すればよいか。	・ リード文や「学習の見通しをもとう」などを参考に、話し合いを効果的に進めるためには何が必要かを考える場であることを確認する  ・ 提示されている一人一人の論点や内容を確認する。 ・ 5名の発言を、それぞれ抽象化して捉えられるようにする。 ・ 話し合いの目的に合わせて、効果的に進めるために、話し合いの展望をもたせる。 ・ 「上達のポイント」(p. 135)を確認させる。  ・ 個人で、最後の空欄に入る発言を考えさせ、その意図も併せて発表させる。 ・ 「○○」を司会者として、適切な言葉を考えさせる。 ・ 話し合いの整理をしたり、参加者全員が見通しをもてたりするような発言が適切である。 <b>【評】</b> 発言を考え、発表し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 司会者の役割について確認させる。 <b>【評】</b> 学習を振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

**【 備 考 】**

文章を読むときには、内容の信頼性や客観性を吟味し、自分の知識や経験と比べて納得できるか否かを検討して、批判的に読むことが大切である。同じテーマに関する二つの文章を比較しながら、評価することを通して、批判的に読むことを学ばせたい。さらに、自らの考えを批評文として書くことで、説得力ある文章にするための工夫を学ばせたい。多様な考え方の中で対象を評価することで、自分の考えを確立させていきたい。

また、こうした学習と関連させながら、社会的な課題などについて、違う立場からの意見を生かし合い、論理的に合意を形成する話し合いの仕方も学ばせたい。

「合意形成に向けて話し合おう」(p. 136～p. 139)